

## 院生の研究発表（研究大会＆学会）特集

12月は、教職大学院2年生（M2）にとっては、研究のまとめの追い込みの時期です。理論と実践したことを整理し、その成果の検証に多くの時間を割いています。その慌ただしさの中、各地の研究大会や学会で取組の成果を報告しています。今月号は、3名の院生による研究大会及び学会での発表の様子をお知らせします。

### 佐賀大学大学院学校教育学研究科 子ども支援探究コース2年 中島 和代 さん

（平成30年度日本教職大学院研究大会 分科会② ポスターセッション 2018.12.9 一橋大学）

発表テーマ 『子どものアセスメントから援助的なアプローチへつなぐ』

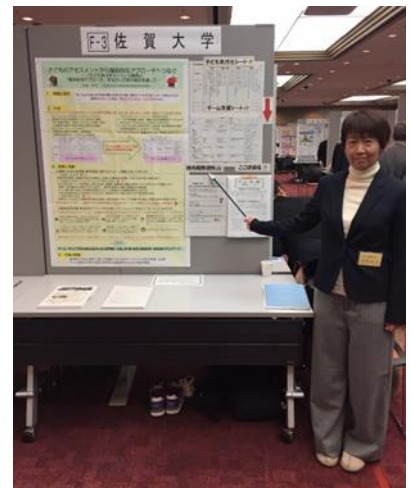
～「子ども気付きシート」の開発と「解決志向アプローチ」を生かした取り組みを通して～

#### 【発表内容】

- ① 集団に適応しづらい生徒の状態の早期把握、具体的な支援を行うための情報共有の効率化
- ② 不登校に関する指導をはじめ、多くの学校適応援助における効果的な援助の在り方
- ③ チームによる援助の必要性を問題意識とした現任校の課題と対応策及び具体策

#### 【発表を終えて】

各大学のさまざまな実践を知ることができ、大変よい刺激になりました。自らの実践も、もっと充実したものになるように、継続して頑張りたいです。



### 佐賀大学大学院学校教育学研究科 授業実践探究コース2年 山田 明子 さん

（日本教育実践学会 第21回大会 2018年12月1日、2日 岡山理科大学）

発表テーマ 『共感的な学びを生み出す心情曲線を活用した道徳授業の研究』

#### 【発表内容】

「事象や課題を自分事として捉えることができていない」という児童の実態を課題とし、小学校の道徳科において、児童の共感的な学びを生み出すため、その成果と課題を明らかにした。

#### 【学会への参加を経験して】

学会での発表に至るまでのプロセスにおいて、様々な力が求められました。発表原稿を作成するための膨大な分析資料や文章量を約10分の1に要約する力、大事な要素だけを凝縮しプレゼンする力、プレゼンする際に出る質問や意見に対応する力等です。そして何より大学院教員のご指導と勤務校の理解、仲間、家族の支えがあったからこそ立てた場であることを感じる事ができ、自身を成長させてくれたと思います。



## 佐賀大学大学院学校教育学研究科 授業実践探究コース2年 樋渡 理紗子 さん

(日本教育実践学会 第21回大会 2018年12月1日、2日 岡山理科大学)

発表テーマ 『数学を活用するよさを感じる数学的モデリングを取り入れた授業実践』

### 【発表内容】

数学的モデリング(柳本,2011)とは、現実世界の問題に対して、それと同型(類似)な数学的モデルを使い、問題解決を考えていくことである。数学的モデリングを取り入れた授業実践を行うことで、生徒が数学のよさを認識できるのではないかという仮説のもと、実際の授業実践を行い、その結果及び考察についてまとめた。

### 【学会への参加を通して】

研究授業が発表申込の直前であり、原稿提出が一ヶ月後ということもあって、間に合わないと思い発表するかとても迷いました。発表すると決めてからは、研究授業のデータの分析等を急いでしないといけませんでしたが、学会発表をしたことにより、自分の研究をもう一度しっかりと見直す機会となり、整理をすることができました。発表会場には佐大の院生をはじめ、他大学の教員や院生などもいらっやあって、様々な助言を頂くことができました。また、他の発表からも多くのことを勉強する機会になりました。



中島さんの発表は、一橋大学で開催された「日本教職大学院研究大会」で行われました。全国の教職大学院を設置する大学が集い、それぞれの教職大学院における特色ある研究が紹介されていました。山田さん、樋渡さんの発表は、岡山理科大学で開催された「日本教育実践学会」で行われました。この学会では、教員を目指す学生や現職教員、大学教員等の研究実践が紹介されていました。この学会では、次のM2のストレートマスターも発表を行っており、研究協議で活発な意見が交わされていました。

### 授業実践探究コース2年 角田 晟 さん

『科学的な思考を高める問題解決的な学習の授業実践』-表象ネットワークモデルに着目して-

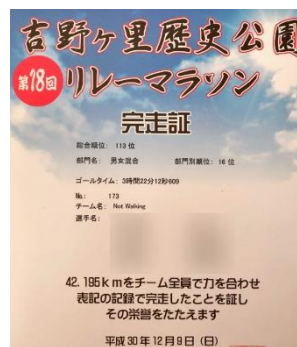
### 授業実践探究コース2年 高橋 直希 さん

『「主体的・対話的な学び」に導く学習カードの工夫』

## 一致団結! M1ストレートマスターの頑張り!

12月9日(日)にストレートマスター10人でチームを作り、吉野ヶ里リレーマラソンに出場しました。チーム名は、「Not Walking!」。この日のために作ったおそろいのTシャツを着て、みんなの心を一つに42.195キロを完走することができました! もちろん、Not Walking です!

来年は、今回の記録を超えることができるよう頑張ります!



編集者:M&M